



審判(副)委員長



## 戦評用紙

種別 **バレーボール (精神)** 会場 **小浜市民体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

特設Aコート 第 **6** 試合

1回戦(第 試合)  準決勝(第 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 1 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	<b>25</b>	—	<b>14</b>	}	<b>0</b> <b>福井県</b> 都道府県、指定都市名
<b>岡山県</b> <b>2</b>	<b>25</b>	—	<b>23</b>		
都道府県、指定都市名		—			

【審判員】  
主 審：熊谷 陽(福井県) 副 審：榊田 昭二(福井県)  
記録員：松宮 誠(福井県) A・S：辻 美樹羽(福井県)

【戦 評】 記載者：古田 哲也

開催地福井県対岡山県の一戦。序盤、岡山県は5番布下、1番木下のサーブで流れをつかみ、岡山県がリードする展開となった。福井県も16番木原の力強いスパイクで追いかける。中盤以降も岡山県はサーブで攻め続け、着実に点数を重ねる。さらに岡山県は代わって入った14番寺西がサービスエースを決め、勢いに乗る。終盤は岡山県2番横溝が次々にスパイクを決め、岡山県が第1セットを先取した。

続く第2セット、両チームのサーブが機能し、一進一退の攻防を見せる。そこで抜け出したのが岡山県であった。9番重友のコースをつくサーブで、6連続得点に成功する。終盤に入り、地元応援団の後押しを受けた福井県が驚異の粘りを見せる。9番松井、18番嶋津、14番福田のサーブで連続ブレイクに成功し、岡山県に迫る。しかし、最後までサーブで攻め続けた岡山県がそのまま2セット目も奪い、ストレートで勝利した。